

木曾川上流河川事務所が取り組む防災・河川環境教育のモデル校である安八町立名森小学校の5年生(79名)を対象に、総合的な学習の時間として、災害対策車両等の見学・操作体験及び土のう作り体験等の防災体験学習を実施しました。

- 日 時：平成31年1月24日(木) 8:30~12:00 (210分)
- 場 所：揖斐川大垣河川防災ステーション(大垣市馬の瀬町地内)
- 対 象：安八町立名森小学校5年生(2クラス:79名)対象
- 内 容：揖斐川大垣河川防災ステーションの説明・見学
災害対策車両等の見学・操作体験 等
* 照明車、対策本部車、排水ポンプ車、河川パトロール車
土のう作り体験、砂運び体験、土のう締め固め体験 等

～ みんなの声 ～

- ・河川パトロールカーは、川や堤防の確認を日頃から行い、小動物の巣穴や自動車の転落、ゴミの不法とうきなどがないかどうか気を付けて見て回っていることを知りました。
- ・普段からの対策のおかげで、災害が少しでも減るようにと守られていることに気付きました。
- ・土のうをならべるときには、弱い部分を川に見せないようにならべていることが分かりました。
- ・土のうを作るのは、意外とむずかしく、結び方を失敗してしまいました。
- ・土のうの締め固めは、一人でやるのがむずかしく、みんなで協力してやるのが大切だと思います。
- ・災害時には、まずは自分の命を守ることが大切だと思うけど、みんなで助け合うことも大切だと思います。今日学んだことをわすれないように生きていきたいです。

大垣防災ステーションの見学



照明車の操作体験



対策本部車の見学



排水ポンプ車の見学



河川パトロール車の見学



土のう作り体験



砂運び体験



土のう締め固め体験

